

『地域密着型金融』の取組み状況について

(平成23年4月 ~ 平成24年3月)

山梨県民信用組合は、信用組合の原点である相互扶助の精神を基本とし、お客様と十分なコミュニケーションを図り、地域の中小規模事業者の資金ニーズに迅速に対応しております。

特に平成19年3月までの「地域密着型金融推進計画」を踏まえ、同年4月からは、「地域密着型金融」を恒久的な取組みとして位置付けており、担保や保証に過度に依存しない融資に取組むなど、中小規模事業者に適した資金調達手段の提供に取り組んでおります。

また、平成21年10月には総合相談センター『パートナーズ』を開設し、お客様のサービス向上、中小規模事業者向け融資の拡大及び事業の発展・再生に対する支援態勢の更なる強化に取り組んでおります。

けんみんの グッドパートナー



◆ 平成23年度(23年4月から24年3月)の取組み状況

当組合は平成19年4月より、「地域密着型金融」を恒久的な取組みと位置付け、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」「中小企業に適した資金供給手法の徹底」「維持可能な地域経済への貢献」等の取組みを推進しています。信用組合の『強み』である地域社会に密着した営業活動を活かし、事業者の事業の発展・再生に対する支援態勢の強化に取組むとともに、地域利用者の利便性の向上にも取り組んでおります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- 創業・新規事業支援
信用組合の中心的な取引先であり、地域の担い手でもある中小零細事業者にとって大変厳しい環境である中、活性化を促すべく、創業及び新規事業への積極的支援を行いました。
- 経営改善支援
金融機関の立場から収益性の向上や生産性の向上に資する助言を行うなど、経営改善及び財務改善をサポート致しました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み
事業特性上、一時的に不動産担保額を超える資金を要する事業者に対し、動産担保を設定することで資金繰りの円滑化を図りました。
- 「目利き機能」の発揮に向けた取組み
良質な融資の増加を図るため、企業の財務分析及び経営管理分析を的確に成せる能力を身につけるべく取組みました。
事業再生経営支援に取組むため、定期的な内外の研修受講、あるいは外部講師を招いての融資担当者研修会を開催し、企業分析力の向上を図りました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 地域経済の活性化につながる多様なサービスの提供
山梨県甲府市主催「甲府大好き祭り」へのイベント参加など、地域社会貢献に取り組みました。

個別項目	取組み内容	取組み結果等
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新規事業支援		
○ 創業・新規事業支援への取組み	<p>・起業者に対しては、公的制度融資による資金調達方法の紹介を行い、創業等の支援を行うよう、総合相談センター及び融資営業係を中心とした案件発掘に注力しました。</p>	<p>・創業及び新規事業に関わる相談に対し、山梨県制度融資を中心に13件8,300万円の融資を取り扱いました。</p>
(2) 経営改善支援		
○ 支援先に対する経営改善支援の取組み	<p>・建設業における原価管理及び販管費削減の支援 建設業は工事受注にウエイトが置かれ、受注工事の粗利益率や販管費の把握が杜撰な傾向にあり、竣工後に赤字工事となることが判明し、赤字補填資金を運転資金として申し込むケースが多い傾向にありました。このため、過剰負債とならないよう工事ごとに当初予算、粗利、進捗率および費用支払いのバランスを一覧表で確認できるよう標準的管理表を作成し、これを利用して原価管理するよう指導しました。</p> <p>・中小企業支援ネットワーク強化事業を活用した顧客企業の経営課題解決に向けた支援 取引先企業の経営改善支援を図るため、中小企業支援ネットワーク強化事業を活用し、同事業のアドバイザー・専門家の支援を受けて経営改善指導を行いました。</p>	<p>・平成24年3月末までに8社を手掛け、「徐々に原価管理が分かってきた」「コスト削減が見えるので助かる」との評価を頂きました。</p> <p>【相手方にとっての成果】 ・ネットワークアドバイザーや専門家によるヒアリング・アドバイスにより、経営課題の掘り起しを行い、様々な問題解決の検討を行うことで、経営者自らの経営改善へ向けての意識の向上が図られました。</p> <p>【当組合にとっての成果】 ・職員がアドバイザーに同行することにより、支援ノウハウの吸収が図られました。</p>

個別項目	取組み内容	取組み結果等
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み		
○ 動産担保(ABL)への取組み	・債務者の資金繰りの円滑化および効率化、省力化による事業の安定化を目的とした動産担保融資に取り組んでいます。	・平成23年度の実績として、12件 17,200万円の融資を取り扱いました。
(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み		
○ 融資審査能力の向上等人材の育成	・融資担当者および役席者のスキルアップを目的に、全国信用組合中央協会や山梨県信用組合協会が主催する研修会に派遣しました。 ・融資担当者及び役席者のレベルに見合った組合内部研修会を融資部、企業支援部が担当し、また外部講師による臨時研修会など開催し、職員のレベルアップに努めました。 ・専門分野(農業・医療・環境)に係る通信講座を受講させ、成長が見込まれる分野のお客様に対応できる職員の育成に努めました。	・融資担当者の審査能力などのスキルは着実に向上しております。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域の面的再生への積極的な参画		
○ 台風被害を受けた温泉地域の面的再生への取組み	・台風12号・15号が下部温泉地域に集中的な被害を与え、温泉街の機能が停止。資金繰りや設備復旧資金の要請があり、地域的被害及び各旅館の個別状況を把握する必要が出てきたため、関連部署より人員を集め横断的にPTを組成し、被害状況の把握、復旧・営業再開予定、復旧費用、売上状況、資金需要の調査を行うとともに、行政、保証協会に働きかけ、制度融資の創設、既存融資の条件変更を行いました。	【相手方にとっての成果】 ・日頃長期融資で疎遠となっていたところ、資金繰りや復旧資金の暫定融資等の支援、今後の相談等を行政・保証協会と協働して対応した為、現実の経営状況や事業承継等、今後の課題を取引先自体認識するようになりました。 【当組合にとっての成果】 ・迅速な被害調査から必要資金や今後の相談事等の個別課題が分かった事より、今後個別解決以上に地域全体としての面的再生への必要性が認識できました。
(2) 地域経済の活性化につながる多様なサービスの提供		
○ 地域社会への貢献	・県都甲府市にて開催の「甲府大好き祭り」への協賛活動として、参加イベントであるダンスパレードに参加しました。	・各種イベントに人的支援を行うことで、官民連携しての活性化事業の成功に貢献しました。
○ 取引先のマッチング	・組合内LANIに情報マッチングサイトを常設し、本支店ネットワークを活用して収集した取引先の「売りたい・買いたい」情報のマッチングを実施しています。	・平成23年度はマッチング情報37件が登録され、2件のマッチングが成立しました。